

A scenic landscape featuring a vast field of purple lavender flowers in the foreground, sloping upwards. In the background, there are green trees on the left and distant mountains under a bright blue sky with scattered white clouds. The entire image is framed by a solid purple border at the top and bottom.

市民意見交換会結果 報告資料

(1) 意見交換会の目的

市内の公共交通の現況や事前に実施した住民アンケート調査の結果を報告し、市内公共交通の問題点や課題について認識の共有を図るとともに、アンケート調査では把握しきれない利用実態やニーズを把握し、今後の計画策定における方向性の検討の基礎資料とすることを目的とした。

(2) 意見交換会の対象及び実施状況

対象地区	開催日時	参加人数
東山地区	令和4年11月10日(木) 13:30~	7名
麓郷・布礼別地区	令和4年11月10日(木) 15:30~	2名
市街地地区①	令和4年11月10日(木) 18:00~	10名
市街地地区②	令和4年11月11日(金) 13:30~	7名
山部地区	令和4年11月11日(木) 15:30~	3名

(3) 意見交換会で把握した内容

- ・ 買い物や通院などの日頃の生活移動について
- ・ 日頃の公共交通の利用状況について
- ・ 居住している地区に望ましい公共交通のあり方について

■開催日時・場所

- ・令和4年11月10日（木）13:30～
- ・東山支所 2階大ホール（参加者：7名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・自動車が主な移動手段
- ・コミュニティカーは東山地区内での移動に限られており不便



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・西達布の郵便局、東山の農協がなくなったので、山部まで行くことも
- ・そもそもバスに乗れなくなってしまい、コミュニティカーの利用は減っている
- ・自動車から介護タクシーの利用にシフトしてしまい、公共交通の利用に反映されないと思う
- ・バスの便数が少なく、帰りの時間帯が遅くなり不便
- ・バスのステップが高いため、乗降に危険性が伴う

■東山地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・バスから降りて徒歩圏内に利用したい施設があるような路線、停留所の設置が重要
- ・バスの待ち時間を安心して過ごせるような空間の創出
- ・鉄路の廃止に伴い、南富良野町経由のバス路線が構築されると少し移動しやすい
- ・東山地区も含め各地区の魅力が向上するようなまちづくりが重要

■その他

- ・樹海学校への山村留学といった振興もあると思う
- ・移住・定住につながる施策・取り組みの検討が重要

■開催日時・場所

- ・令和4年11月10日（木）15：30～
- ・麓郷集落センター（参加者：2名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・買い物、通院等、週1回以上は行くので、これから冬の道路交通確保が重要
- ・中富良野町に買い物で行く人は比較的多め



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・ほとんど利用がなく、自分で運転できない状況でも、送迎が主ではないか

■麓郷・布礼別地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・除雪が行き届かないと移動がそもそもできないため、除雪対策は配慮してほしい
- ・当面は、現状の公共交通体制を維持してほしいと思う
- ・バス停まで行く手段の確保は今後、需要が高くなると思う

■その他

- ・老人クラブなど既存の集まりで意見交換を行うことは重要
- ・開催周知方法の工夫は必要（広報などはなかなか見ない）

■開催日時・場所

- ・令和4年11月10日（木）18:00～
- ・富良野文化会館（参加者：10名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・島の下地区ではコミュニティーカーで病院に直通で行けない
- ・北の峰地区では高速バスの通院利便性が高い
- ・JRで旭川に通院に行く際に利用したい時間帯が合わない
- ・高齢者は旭川まで行くには自動車では怖く、バスを使うが、トイレがない



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・市街地地区では、ほぼ利用がない
- ・島の下地区では、公共交通の降車場所は便利と思うが、時間帯が合わない

■市街地地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・島の下地区では、自家用有償運送（白ナンバー）だと利用・運営しやすいと思う
- ・行きたい施設（特に通院）に乗り入れ、近場で乗降できると良い
- ・バス停までの移動が困難になってきている住民もあり、工夫が必要
- ・ちょいのりタクシーも活用した移動ができると、より良い
- ・市街地内は施設立地と関連づけた（まちづくりと連携した）路線とすることが有効と思う

■その他

- ・運行するバス車両は燃費についても配慮いただきたい
- ・JR、バスなど公共交通間での連携は重要

■開催日時・場所

- ・令和4年11月11日（金）13:30～
- ・ふれあいセンター 軽運動室（参加者：7名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・麻町線を利用している

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・停留所に行くことが大変な人は多い
- ・布部地区では免許返納後はタクシーしかない

■市街地地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・市街地周辺までにちょいのりタクシーが広がると良い
- ・スマートフォンで予約した上で、運行する公共交通が望ましいではないか
- ・ドアトゥドア型の公共交通が望ましい
- ・現金だけでなく、交通系ICや電子マネーでの決済もできると良い

■その他

- ・スマホが使えない高齢者は多いと想定されるため、アナログな手法を活用することも重要
- ・利用者の操作手順が少なくなるようなデジタル化が重要
- ・生活の足を確保した上で、見守りとして役割をもったシステムも有効
- ・子育て世代などの日中時間帯に意見交換等できない方の実態を他部署と連携して実施できると良い



■開催日時・場所

- ・令和4年11月11日（金）15：30～
- ・山部福祉センター 大ホール（参加者：3名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・農村部では自動車に乗らざるを得ない
- ・富良野駅で自動車を置いて旭川市へJRで、と思っても駐車場所がなく利用しにくい
- ・JRでも滝川市、旭川市までの移動時間は長い

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・減便が進み、利用時間帯が合わなくなり、利用しにくくなっている
- ・運転できなくなったら最悪の場合、移住が必要な状況
- ・病院か駅までしかコミュニティカーが利用できないため不便
- ・富良野駅はバリアフリーが進んでおらず、JR利用が難しい

■山部地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・通学も立ち行かなくなることが想定されるため、検討が重要
- ・乗合によって利用運賃が安くなる仕組みがあると、利用しやすいと思う
- ・公共交通が利用しやすい利用促進策が必要
- ・コンパクトシティありきではなく、各地区で営まれる生産空間の維持も必要

■その他

- ・JRやバスによる輸送が適切ではない時代になってきている
- ・観光客からレンタカー以外の二次交通が不足している、と聞いている
- ・地域おこし協力隊などを活用した移住・定住促進（まちづくりの観点を踏まえ）

